

問題発見型／解決型学習(FBL/PBL) テーマ提案 (学生募集内容)

テーマ名称	身の回りの道具の新たなデザイン
実施責任者	大学院工学研究科機械理工学専攻 准教授 小森雅晴 デザイン学ユニット (未定)
実施協力者	TechnoProducer 株式会社 取締役 楠浦崇央 有限会社 TSDESIGN 代表者 角南健夫
テーマの背景	身の回りには多くの道具が存在している。例えば、鉛筆や消しゴムなどがある。これらの道具は小さなものではあるが、人が快適に生活をするためには欠かせないのであり、重要な役割を担っている。このような道具は、開発されてから長い年月が経過しているものも多く、すでに完成されたもののように見えるかもしれない。しかしながら、本当に完成しているだろうか。問題はないだろうか。そこで、ここでは身の回りの道具について、新たなデザインを提案することを目的として学習を行う。
実習の概要	次のように進める。デザイン手法に関する講義とミニ演習を行う。その後、身の回りの道具の観察、使用状況の調査を行い、どのような問題があるのか分析する。必要に応じてフィールド調査を行う。次に、発見した問題に対して、デザインの目的を設定し、それを具体化する仕様を決める。そして、その仕様を実現するためのアイデアを創出し、具体的なプロダクトデザインを提案する。また、デザインしたものを試作し、それをを用いて評価を行い、提案したデザインの有効性を検証する。この学習では、学生がグループとなって活動を行う。
実施計画、実施場所	主に京都大学桂キャンパス 詳細は実施計画を参照。
履修条件	実施日には、朝から1日をかけて学習を行う。できるだけ平日での実施を計画しているが、参加者の都合がつかない場合は土曜日に実施する。このため、少なくとも、土曜日はほぼ出席可能であること。
募集人数	3名以上、9名以下
募集締切	5月2日(金)
応募資格	京都大学の学部生、大学院生、他大学の学部生、大学院生、社会人 応募多数の場合には、デザイン学履修生を優先する。
応募方法	以下の項目を記載したメールを送付。 (デザイン学履修生はガイダンスでの指示に従うこと) To: komorim@me.kyoto-u.ac.jp CC: fblpbl-application@design.kyoto-u.ac.jp Subject: [FBL/PBL 参加申込] テーマ名称 本文: 氏名、所属組織、役職・学年、メールアドレス、Web ページ、テーマ名称、背景知識・専門性、応募の動機、その他
履修者の決定	5月9日(金)までにメールで参加の可否を通知。
問題発見や解決に用いるデザイン理論やデザイン手法	機械設計論、ブレインストーミング
理論や手法の学習方法	参考書「正しい設計のススメ」 西川、エクスナレッジ

実習の公開方法	終了後 Web にて公開する
成績評価方法	出席 4 割 最終レポート・発表 3 割 活動状況 3 割
特記事項	

実施計画

コマ	日程	場所	実施内容
5	5月	桂	イントロダクション、デザイン手法に関する講義とミニ演習、身の回りの道具の問題の分析、実施協力者による講演
5	6月	桂	デザインの目的と仕様の設定、構想設計、詳細設計、試作準備
5	7月	桂	試作品の評価、発表準備、プレゼンテーション

※KRP: デザインイノベーション拠点 (京都リサーチパーク 9号館 5階)